

第4回環境基本計画 市民ワークショップ

じぶん × 未来 × ぶんじ

～自分ごととして考える未来の国分寺の環境～

1964→2024



この街が好き、ずーっと一緒。

祝国分寺市制60周年

令和6年6月2日

国分寺市まちづくり部まちづくり計画課

背景画像：Google Earth

今日のプログラム

(検討テーマ「2030年の国分寺の環境のためにできること・すべきこと」)

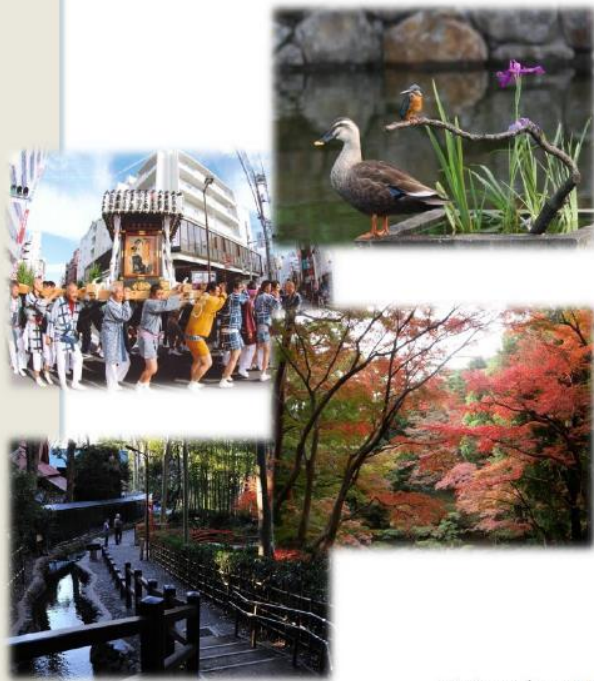
時間	内 容	
10:00～	開会あいさつ	3分
10:03～	企画説明、振り返り、市の現状と課題の整理	22分
	基本戦略(新しい施策体系)、マインドマップの完成イメージ	
	マインドマップの作成方法	
10:25～	テーブルごとに該当テーマの基本方針の説明	10分
10:35～	ブレインストーミング テーマ (自由にアイデアを出し合い、解決策を話し合う) 「2030年の国分寺の環境のためにできること・すべきこと」 →意見の整理、マインドマップの作成	60分
11:35～	マインドマップの完成 休憩兼他グループのマップ見学	15分
11:50～	発表・質疑応答	32分
12:22～	マインドマップ戦略1と戦略3に関する質疑応答	5分
12:27～12:30	次回のお知らせ、アンケートのお願い	3分

事前説明

グループワーク

環境基本計画とは・・・

第二次国分寺市環境基本計画



平成 26 年 3 月
国 分 寺 市

国分寺市環境基本計画は、「自然環境」「地球環境」「都市環境」「生活環境」「環境教育・環境学習」など、様々な環境の分野に関する市の環境施策を総合的かつ計画的に進めるための計画です。

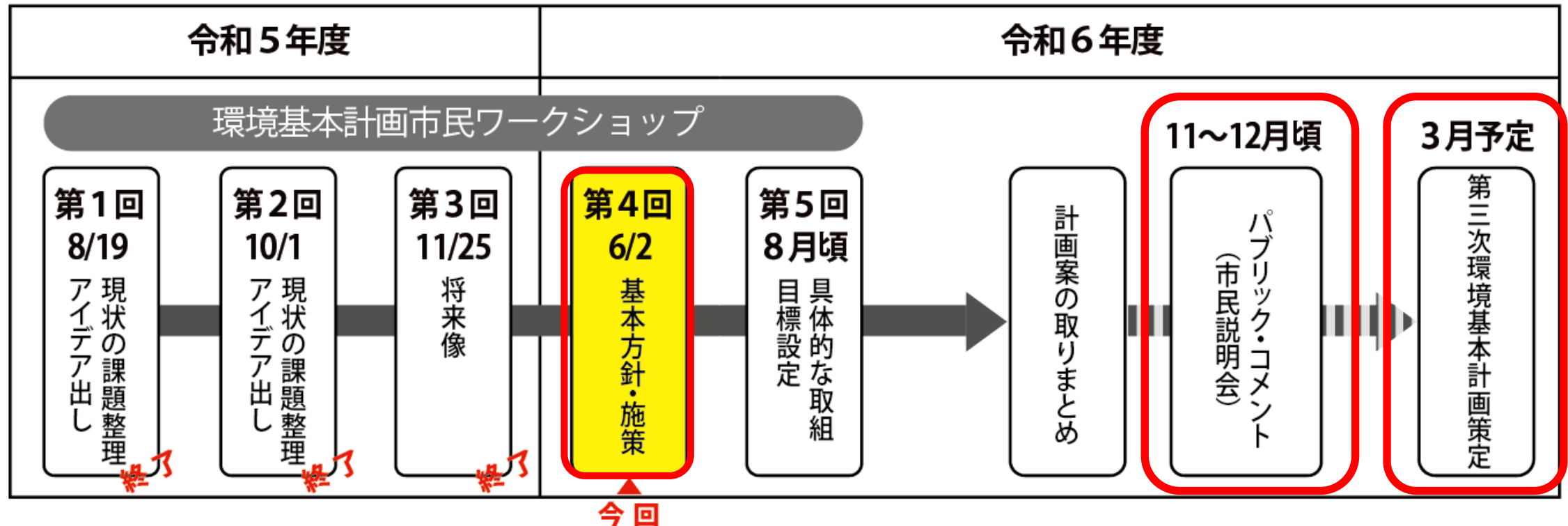
近年、社会状況は大きく変化し、深刻化する地球温暖化、プラスチック資源循環や生物多様性の危機など、新たな環境課題への対応が求められています。

これらの状況を踏まえ、現行の計画が令和 7 年 3 月で計画期間を満了することを契機として、令和 5・6 年度の 2 か年をかけて計画の改定作業を行っています。

市民ワークショップの目的・本日の進め方

本ワークショップは、「第三次国分寺市環境基本計画」の策定に向けて、市民の皆さまと一緒に計画づくりをするため、開催するものです。

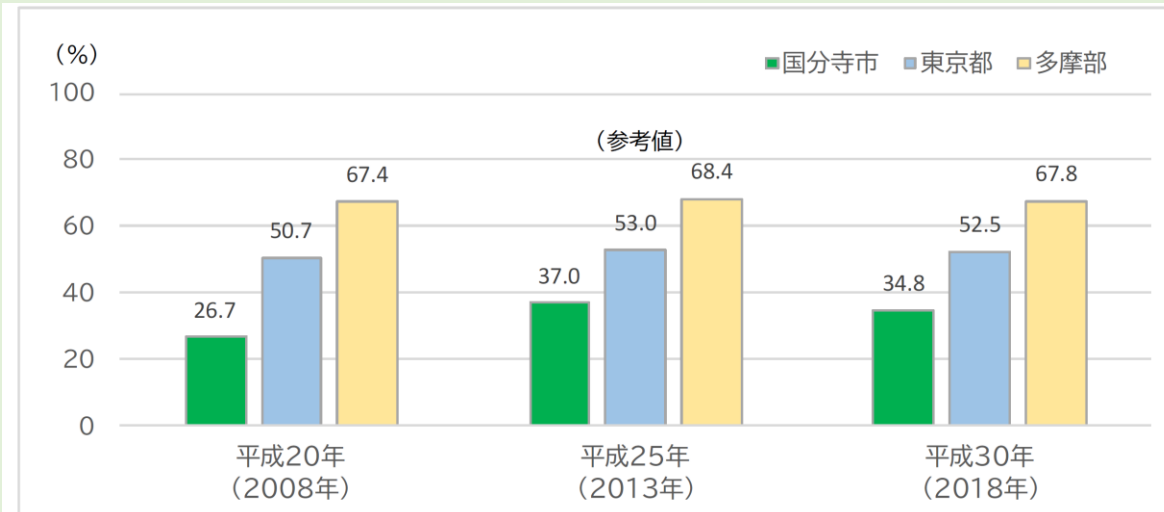
本日の第4回は「2030年の国分寺の環境のためにできること・すべきこと（基本方針・施策）」について議論します。



第1回市民ワークショップの振り返り（自然環境）

■ 市民ワークショップから見た課題

国分寺市の自然環境



主な意見(抜粋)

- 湧水や用水、農地や樹林地が残っているので、保全したい
- 地産地消(こくベジ)を普及・拡大したい
- 子どもたちに「こくベジ」を広める(食育)
- 生きものが減った・生態系の変化を感じる
- ふれあい・体験の場の充実 など

第1回市民ワークショップの振り返り（循環型社会）

■ 市民ワークショップから見た課題

循環型社会の形成



主な意見(抜粋)

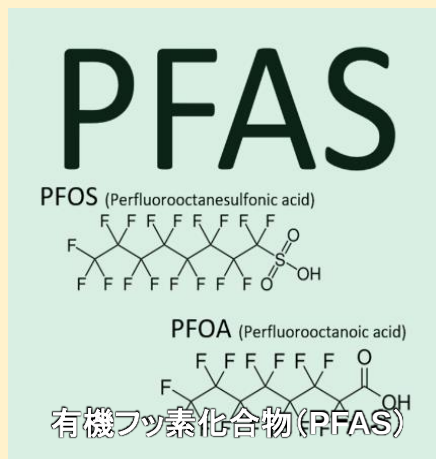
- プラスチックの使用削減
- リユースの手助けが必要
- ごみ資源物の分別方法が分かりにくい
- 生ごみのたい肥化を促進したい
- ごみ処理の社会科見学が行われていない
- 3R効果を見える化して意識向上 など



第2回市民ワークショップの振り返り（生活環境）

■ 市民ワークショップから見た課題

国分寺市の生活環境



主な意見(抜粋)

- 生活環境での大きな課題が少ないまち
- 有機フッ素化合物(PFAS)が心配
- 歩行者や自転車を利用しづらいまち
- 中学校給食(食育)
- 雨水浸透などの機能を持つグリーンインフラを積極的に展開
- 野川の整備 など

第2回市民ワークショップの振り返り（環境教育・環境学習）

■ 市民ワークショップから見た課題

国分寺市の環境教育・環境学習



主な意見(抜粋)

- 情報が届かないので、情報発信の工夫
- 楽しみながら学べる工夫
- 環境教育が根付いていない
- 学校と連携した取組が必要
- 子どもから大人まで
- 市と市民団体との協働
- 市民団体の高齢化・参加者減
- 環境活動の体系化・見える化 など

次世代アンケート 環境学習・環境活動の経験	
No.	項目
1	地球温暖化や野生生物の減少など環境問題に関する学習会
2	生きもの観察会など地域の自然にふれあう体験学習
3	農作物の収穫体験

①学校の授業のなかで経験した

67.9%
47.1%
65.4%

環境教育は学校の授業が主体
というアンケート結果

第3回市民ワークショップの振り返り（未来の国分寺の姿）

2050年のありたい未来の姿

【自然環境】

- 水と樹木でむすぶネットワークのある国分寺
- こくベジのある国分寺 など

【循環型社会】

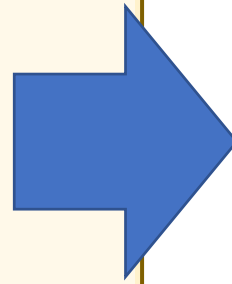
- ごみゼロでクリーンなまち
- 生ごみからモノができるまち

【生活環境】

- おいしい水の国分寺
- 誰でも安全に移動できるまち など

【環境教育・環境学習】

- 子育てしやすい国分寺
- 子どもが誇れる楽しい国分寺



2030年のあるべき未来の姿

【自然環境】

- 水と緑、生きもの
- 農地、農業 など

【循環型社会】

- ごみ(排出量)が半減している
- 生ごみたい肥化が進んでいる

【生活環境】

- おいしい水の国分寺
- 誰でも安全に移動できるまち

【環境教育・環境学習】

- 子どもが誇れる楽しい国分寺を実現するための取組

国分寺市の環境の現状と課題の整理

市の概況	自然:国分寺崖線の緑と湧水群→生きものの多様性に寄与 土地利用:宅地化が進行し、農地や緑地等が減少	人口:市の人口・世帯数は令和22(2040)年まで増加傾向 産業:3次産業が9割。都市農業が盛んだが、農地面積等は減少傾向
------	--	--

詳しくは、本日配付しました資料をご覧ください

	地球環境	自然環境	循環型社会	生活環境	環境学習・行動変容
進捗等	・温室効果ガス排出量は減少傾向 ・太陽光発電導入量は増加傾向 ・ゼロカーボン行動の加速化	・湧水量に大きな変化なし。 ・動植物の確認種は増加傾向。 外来種も増加傾向。	・総資源化率は多摩26市中1位。	・有機フッ素化合物問題発生。 ・自動車保有台数は減少傾向。	・ひろば参加人数、環境アドバイザー派遣実績は低調。 ・学童体験農園数減少。
アンケート	・温暖化は押し迫った問題である。 ・省エネに取り組んでいる。	・自然環境の評価は肯定的。 ・国分寺崖線・生物多様性の認知度は高くはない。	・ごみの分別、マイバック、資源物回収などに日頃から取り組んでいる。	・空気のきれいさ・騒音については「満足」「やや満足」あわせて約7割。	・環境教育は学校の授業が主体。市の環境イベントや取組の認知度は低い。
WS	・家庭部門の排出量削減対策が必須 ・交通による環境負荷の軽減。EV化。 ・酷暑や豪雨への対策。	・湧水や用水、農地等の保全 ・子どもたちに「こくベジ」を広める(食育)。 ・ふれあい・体験の場の充実。	・プラスチックの使用削減。 ・生ごみ堆肥化の促進。 ・3R効果を見える化	・有機フッ素化合物が心配 ・歩行者や自転車が利用しづらい ・グリーンインフラの積極的展開 ・野川の整備	・情報が届かない。 ・楽しみながら学べる工夫。 ・市民団体の高齢化等。 ・活動の体系化・見える化
課題	●行動変容への後押し ●省エネ化と再エネ導入の促進 ●資源循環、地産地消の推進 ●脱炭素の視点でのまちづくり	●自然環境の保全 ●生物多様性の保全 ●自然との共生・自然の利活用 ●学びの場の創出、人材育成	●3Rの更なる推進 ●多様な手段の情報発信 ●資源循環や3Rを学ぶ機会の創出 ●地域経済循環の推進	●モニタリングと情報提供 ●まちの美化活動の促進 ●歩きたくなるまち ●グリーンインフラの推進	●戦略的な情報発信 ●参加しやすくなるプログラム ●多様な主体との連携・協働 ●多様なふれあい・学びの場

国内外の動向

気候変動と脱炭素

生物多様性の損失と自然再興

循環型社会の形成

2050年のありたい未来の環境の姿

バックキャスト

2030年のありたい未来の環境の姿

第三次環境基本計画の検討

基本戦略(新しい施策体系)(案)を考える視点

(1) 2050年を見据えた2030年までの到達点を目標設定

- ・地球温暖化対策、生物多様性の保全→世界的に差し迫った課題



国際的に令和12(2030)年までの行動が極めて重要

(2) 社会情勢や地域特性、喫緊の課題を踏まえた戦略的施策

- ・2050年の長期的な視点を持ちつつ、総合的かつ計画的に目標を達成するため、

喫緊の課題に応じた施策の選択と集中が必要

(3) 国分寺の環境を次世代につなぐ基盤づくり

- ・全ての環境は、人間活動の影響を受ける ⇒ **一人ひとりの行動変容が重要**



環境への興味・関心 ⇒ 学びを通じた自発的行動 ⇒ 多様な人々との連携・協働

による活動の輪を広げる **プラットフォームづくりとなる(基盤)戦略ゼロの設定**

基本戦略(案)

4つの戦略

基本戦略 2050年の姿

2030年の姿

地球環境

自然環境

循環型社会

生活環境

環境学習・ 行動変容

戦略1

ゼロカーボン
と持続可能な
社会の実現

温室効果ガス排出量
50%削減
さらなる高み60%
(2013年度比)

基本方針2

省エネ化と再エネ導入
の促進
●建物等の省エネ普及促進
●エネ導入の促進

基本方針3

緑の保全・創出
●緑の保全・創出
●広域連携による緑保全・
創出

基本方針4

循環型社会の形成
●資源循環の推進
●地域経済循環の推進

基本方針5

脱炭素の視点での
まちづくり
●ウォーカブルシティ
●環境に負荷のない移動

基本方針1

脱炭素ムーブメント
の創出
●脱炭素型スタイル転換
●連携等の脱炭素社会

※国分寺市ゼロカーボン行動計画
(令和6年3月策定)

戦略2

生物多様性の
保全と自然共
生の実現

緑と水と多様な
生きものが共生する
まち

※戦略1 基本方針6で対応

基本方針1

生物多様性の保全と
自然共生
○生きものの生息状況把握
○生きものの生息空間保全

※戦略1 基本方針6で対応

基本方針2

都市のエコロジカル
ネットワークの形成
○まちなかの緑化
○生きものの生息環境の創出

基本方針3

生物多様性の
理解と浸透
○生きものとふれあう
○自然環境の魅力発信

戦略3

安全・安心で健
康な生活環境
の実現

誰もが安全・安心に生
活できる住みやすい
まち

※戦略1 基本方針5・6で対応

基本方針1

自然の機能を活かした
安全・安心なまちづくり
○グリーンインフラの推進
○都市整備上の環境配慮

※戦略1 基本方針4で対応

基本方針2

健康な暮らし環境の実現
○公害のない生活環境実現
○清潔で快適なまちの保持

基本方針2

安全・安心につながる
情報提供
○環境モニタリング
○情報提供の充実

※戦略0(ゼロ)は、戦略1から3の基盤となる戦略

戦略0

国分寺の環境
を次世代につ
なぐ基盤づく
り

自然にふれあう楽しさ
を実感し、仲間ととも
に、国分寺の自然や環
境の取組を誇れるまち

基本方針1

知識・理解・関心の底上げ
(見る・知る)
○国分寺の環境の効果的情報発信
○行きたくなる・知りたくなるを
後押し

基本方針2

学びを通じた自分ごと化
(気付く)
○学びの場・体験の場の創出
○学びの体系化

基本方針3

自発的な活動(行動する)
○学びの場・体験の場を通じた人材
育成
○活動の支援

基本方針4

自多様な主体によるパートナ
ーシップの充実・強化(連携・協働)
○多様な主体と連携した環境活動
及び魅力のある地域づくりの推進



国分寺市ゼロカーボン行動計画

～オール国分寺で取り組む脱炭素社会～

(令和6年3月策定)



(ゼロカーボンシティ表明時の市長と環境大臣からのメッセージ)

国分寺市ゼロカーボン行動計画の検討 (国分寺市脱炭素未来ワークショップ)

・ 令和5年5月21日 (日)



・ 令和5年7月22日 (土)



基本理念 1

オール国分寺で実現する

基本理念 2

国分寺らしさ・国分寺
のポテンシャル
（可能性・発展性）を
いかす



削減目標（p.36）

長期目標

2050年までに市域の温室効果ガス排出量を実質ゼロにします。

中期目標〔本計画期間の目標〕

2030年度において、2013年度比で温室効果ガス排出量を50%削減します。

また、さらなる高みを目指し、60%削減に向けて、意欲的に取組を進めます。

第5章 温室効果ガス排出抑制等に関する施策の展開

施策体系

地球温暖化・気候変動に関する環境問題は、自然や生きもの、人間社会(健康、生計、食料、水供給、経済など)に大きな影響を与える地球規模の喫緊の課題です。

基本理念

これらの問題に対応するための国分寺市ゼロカーボン行動計画では、自然環境や循環型社会などに係る分野横断的な施策を講じる内容となっています。

基本方針	施策	基本方針	施策
基本方針1 脱炭素ムーブメントの創出	施策1-1 脱炭素型スタイルへの転換 施策1-2 連携・協働による脱炭素社会の実現	基本方針5 脱炭素の視点でのまちづくり	施策5-1 ウォーカブルシティの形成 施策5-2 環境に負荷をかけない移動手段の促進 施策5-3 都市整備等の機を捉えたまちの脱炭素化の促進
基本方針2 省エネ化と再エネ導入の推進	施策2-1 住まい・建物、設備機器の省エネ化の普及促進 施策2-2 再エネ導入の促進	基本方針6 気候変動への適応	施策6-1 猛暑・熱中症への対策 施策6-2 自然災害による被害の防止・軽減 施策6-3 自然生態系の変化の把握・対応その他適応策
基本方針3 緑の保全・創出	施策3-1 市域の緑の保全・創出 施策3-2 広域連携による緑の保全・創出		
基本方針4 循環型社会の形成	施策4-1 資源循環の推進 施策4-2 地域経済循環の推進		

オール国分寺で取り組む脱炭素型スタイル（p.58～65）

市民，事業者，市が一丸となり，オール国分寺で脱炭素型スタイルを日常のスタイルとし，着実に温室効果ガス排出量の削減を行っていく必要があります。

オール国分寺で取り組む脱炭素型スタイル【市民編】

○環境省「脱炭素につながる
新しい豊かな暮らしの10年後」

○家の中でできる省エネの取組

○住宅の新築・改修や家電製品
などの買い替えのときにできる取組

○移動のときにできる取組

○その他の日常生活でできる
脱炭素型ライフスタイル



本日は、皆様に

戦略2 「生物多様性の保全と自然環境の実現」 (生物多様性地域戦略)

戦略0 「国分寺の環境を次世代につなぐ基盤づくり」 (環境教育・環境学習・行動変容)

の2つの戦略を中心に、戦略に必要な基本方針、施策、取組に関するご意見とアイデアをいただきたい。

戦略2

生物多様性の
保全と自然共
生の実現

緑と水と多様な
生きものが共生する
まち

※戦略1 基本方針6で対応

基本方針1

生物多様性の保全と
自然共生

- 生きものの生息状況把握
- 生きものの生息空間保全

※戦略1 基本方針6で対応

基本方針2

都市のエコロジカル
ネットワークの形成

- まちなかの緑化
- 生きものの生息環境の創出

基本方針3

生物多様性の
理解と浸透

- 生きものとふれあう
- 自然環境の魅力発信

戦略3

安全・安心で健
康な生活環境
の実現

誰もが安全・安心に生
活できる住みやすい
まち

※戦略1 基本方針5・6で対応

基本方針1

自然の機能を活かした
安全・安心なまちづくり

- グリーンインフラの推進
- 都市整備上の環境配慮

※戦略1 基本方針4で対応

基本方針2

健康な暮らし環境の実現

- 公害のない生活環境実現
- 清潔で快適なまちの保持

基本方針2

安全・安心につながる
情報提供

- 環境モニタリング
- 情報提供の充実

※戦略0(ゼロ)は、戦略1から3の基盤となる戦略

戦略0

国分寺の環境
を次世代につ
なぐ基盤づく
り

自然にふれあう楽しさ
を実感し、仲間ととも
に、国分寺の自然や環
境の取組を誇れるまち

基本方針1

知識・理解・関心の底上げ
(見る・知る)

- 国分寺の環境の効果的情報発信
- 行きたくなる・知りたくなるを後押し

基本方針2

学びを通じた自分ごと化
(気付く)

- 学びの場・体験の場の創出
- 学びの体系化

基本方針3

自発的な活動(行動する)

- 学びの場・体験の場を通じた人材育成
- 活動の支援

基本方針4

自多様な主体によるパートナ
ーシップの充実・強化(連携・協働)

- 多様な主体と連携した環境活動及び魅力のある地域づくりの推進

国分寺市動植物調査（令和5年度）

市内の動植物の生息・生育を把握

生物多様性地域戦略策定の基礎情報の整備

調査地点（7箇所）

凡例：

- ① 西恋ヶ窪緑地
- ② 姿見の池緑地
- ③ 東京経済大学（「東経の森」）
- ④ 武蔵国分寺公園・真姿の池周辺
- ⑤ 平兵衛樹林地
- ⑥ 西町四丁目緑地
- ⑦ 西町五丁目緑地



確認種数

※調査地は前回よりも2地点（西町四丁目・五丁目緑地）増えました

表 令和5(2023)年度国分寺市動植物調査結果

分類群		確認種	希少種		外来種リスト
			国レッドリスト (国 RL)	都レッドリスト (都 RL)	生態系被害防止外来 種リスト掲載種
植物		634(531)	13(15)	26(18)	39(29)
鳥類		48(37)	2(2)	15(10)	2(2)
哺乳類		3(1)	0(0)	0(0)	1(0)
は虫類		3(8)	0(0)	2(7)	1(1)
両生類		0(1)	0(0)	0(1)	0(0)
昆虫類		546(354)	1(0)	7(10)	1(1)
クモ類		64(60)	1(1)	2(1)	0(0)
水生生物	昆虫類	※24(19)	0(0)	※3(2)	0(0)
	魚類	7(7)	1(1)	2(2)	0(1)
	その他	14(12)	0(0)	3(1)	2(1)
合計		1,319(1,030)	18(19)	57(52)	46(35)

確認種数

1,319種

前回（H27年度）調査と比較して

289種多い

※外来種も増加傾向

生物多様性地域戦略の策定に向けて (環境基本計画に包含)

- 国分寺の地域特性を踏まえた分析・評価
- 市民協働の支援及び拡大
- 生物多様性の保全に関する啓発活動
- 国分寺市の自然の魅力発信・活用



施策
脱炭素型ス
タイルの推進

施策案
資源循環の推進

戦略Ⅰのマインドマップは会場に掲示しています
休憩兼見学タイムの際にご覧ください
ご質問やご意見をポストイットに貼ってください

施策
住まい
の省エネ化の普及促進

基本方針2
省エネ化と再
エネ導入の促
進

施策
再エネ導入の促進

ゼロカーボンと持続
可能な社会の実現

2030年の姿（目標）

■ 2013 年度比で温室効果ガス排出量を50 %削減

基本方針5
脱炭素の視点で
のまちづくり

施策
環境に負荷をかけない移動
手段の促進

施策
都市整備等の機を捉えたまちの
脱炭素化の促進

基本方針6
気候変動への適応

施策
猛暑・熱中症への対策

施策
自然災害による被害の
防止・軽減

施策
自然生態系の変化の把
握・対応その他適応策

基本方針3
緑の保全・創出

施策
市域の緑の保全・創出

施策
広域連携による緑
の保全・創出

施策(例)

施策(例)

戦略3のマインドマップは会場に掲示しています

休憩兼見学タイムの際にご覧ください

ご質問やご意見をポストイットに貼ってください

2030年の姿（目標）

- 誰もが安全・安心に生活できる
住みやすいまち

戦略3(案)
安全・安心で健康な
生活環境の実現

施策(例)
公害のない生活環境の
実現

基本方針2
健康な暮らし
環境の実現

施策(例)
清潔で快適なまちの
保持

基本方針3
安全・安心につな
がる情報提供

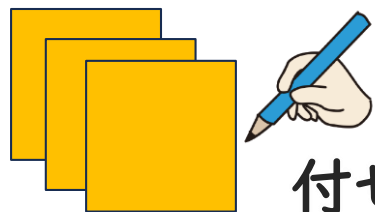
施策(例)
環境モニタリング

施策
生活環境に関する情
報提供の充実

本日のグループワークの内容

■戦略ごとに

「2030年の国分寺の環境のためにできること・すべきこと」について、マインドマップの手法を利用しながら、基本方針、施策、主な取組に関するアイデアの掘り下げを行います。



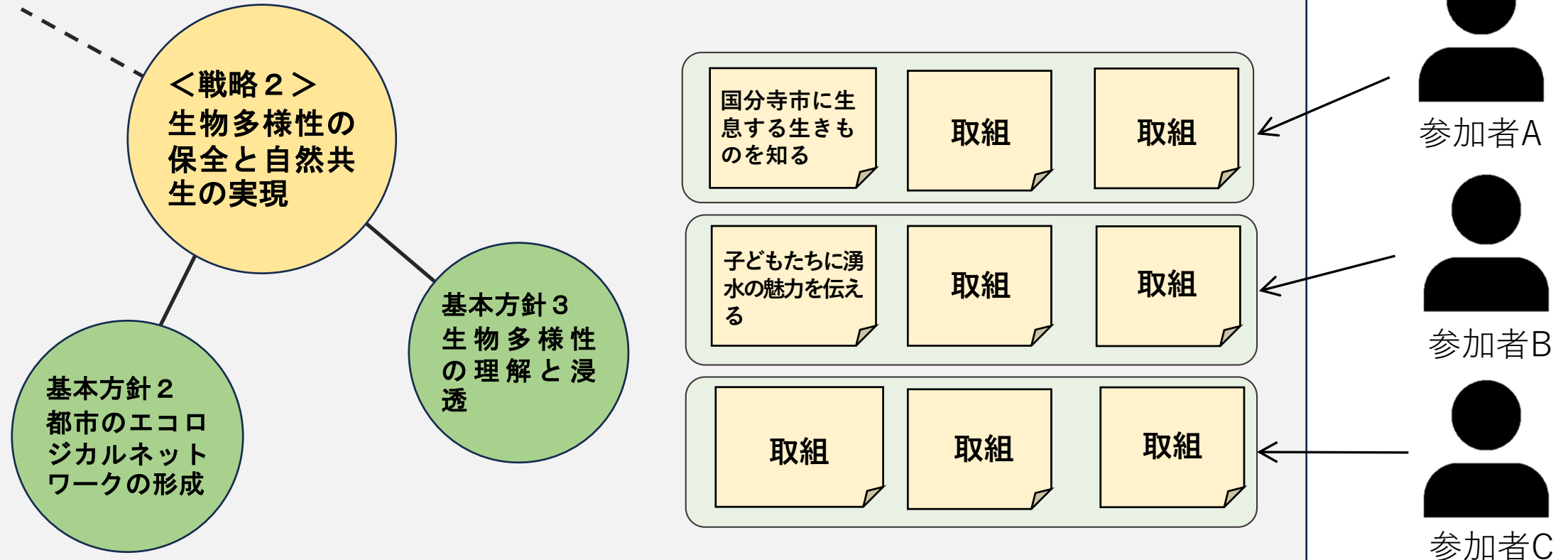
付せんを使っていろいろなアイデアを書き出し、話し合いましょう！

マインドマップの作成方法

■ テーブルに割り振られたテーマのワークシート

STEP 1 ブレインストーミング

「2030年の国分寺の環境のためにできること・すべきこと」の視点から、考えた取組案をポストイットに書き込み、関連しそうな基本方針の近くに貼り付けます。



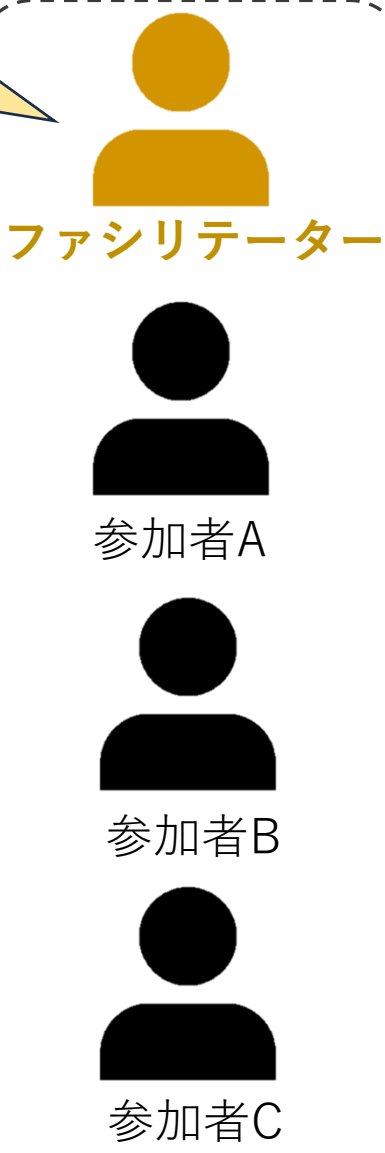
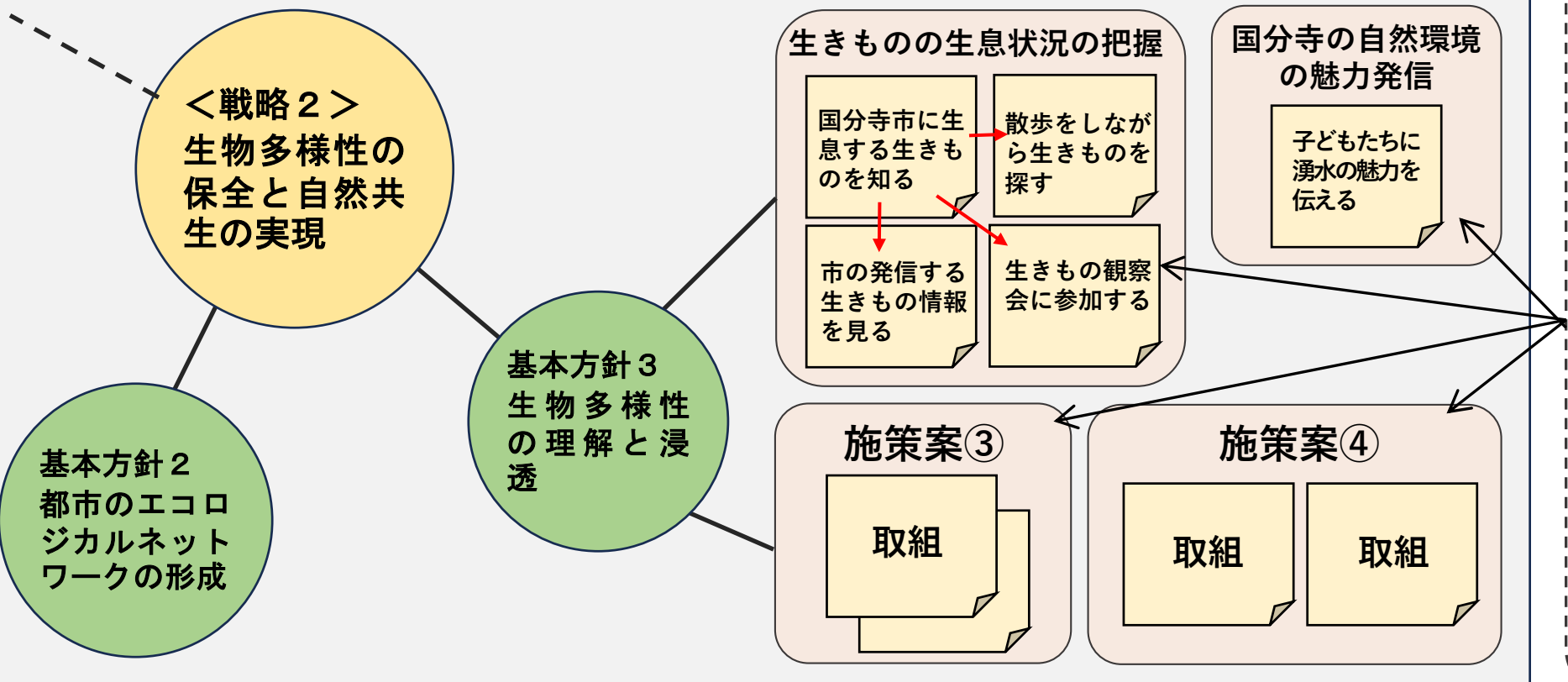
マインドマップの作成方法

■ テーブルに割り振られたテーマのワークシート

STEP 2 意見の整理

ファシリテーターを中心に、取組をグルーピングし、施策案を考えます。

「国分寺市に生息する生きものを知る」ために皆さんでできることは何でしょうか？

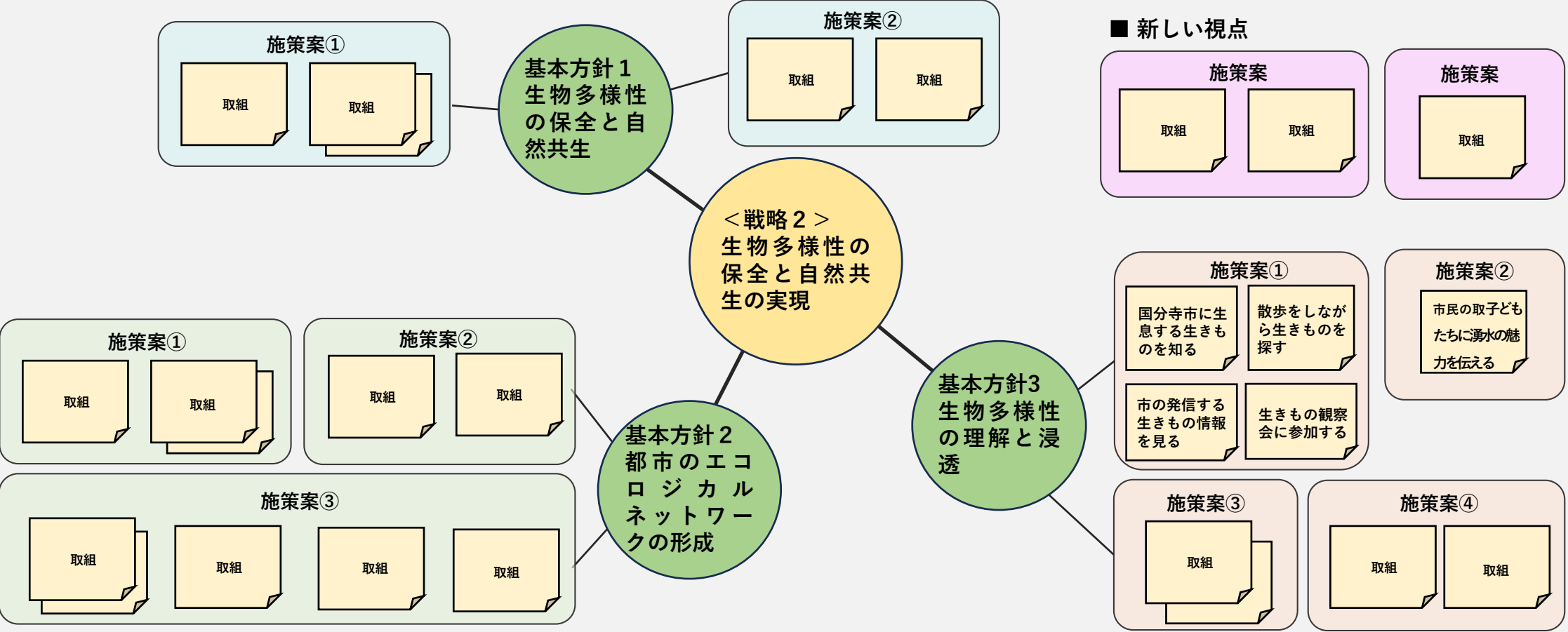


マインドマップの作成方法

■ テーブルに割り振られたテーマのワークシート

STEP 3 アイデアツリーの完成

どの基本方針にも施策案が繋がるようにしながら、マインドマップを埋めていきます。



ワークショップの心得

その1 話は短めに

みんなの意見を聞けるように、話過ぎに注意しましょう。

その2 違っていても当たり前

自分と考えが違っていても、それには理由があります。
否定せずに、最後まで聞きましょう。

その3 話がまとまっていなくても大丈夫

会議ではありません、話し合いを楽しみましょう。

「今はまだ考えがまとまらない」という場合は、それを表明すればOKです。